

2. 第53回地盤工学研究発表会（高松市）での特別セッション

平成30年7月25日に高松市で開催されました研究発表会の特別セッションで平成30年4月に発生した大分県中津市耶馬溪町の大規模崩壊に関する発表を行いました。

第53回地盤工学会研究発表会（高松）平成30年7月25日
特別セッション（一般開放セッション）発表
主催委員会：「平成29年7月九州北部豪雨地盤災害調査団」

「平成30年4月大分県中津市耶馬溪町で発生した斜面崩壊に係る
現地調査ならび分析結果の報告」

座長：村上 哲（福岡大学）

1. 斜面崩壊の概要 —地形と地質—
矢ヶ部秀美（NPO法人研究機構ジオセーフ）
2. 現地調査およびその分析結果
大嶺 聖（長崎大学）
3. 推定される崩壊の形態とメカニズム
三谷 泰浩（九州大学）
4. まとめ —得られた教訓と今後の地盤工学的な課題—
三谷 康浩（九州大学）ほか先遣隊メンバー
5. 質疑応答および意見交換
— 崩壊のメカニズムと事前防災 —

特別セッション（一般開放セッション）配布リーフレット
「平成30年4月大分県中津市耶馬溪町で発生した斜面崩壊に係る
現地調査ならびに分析結果の報告」

平成30年4月11日未明、大分県中津市耶馬溪町金吉の梶ヶ原地区において、明示的な降雨を伴わない規模の大きな斜面崩壊が発生し、甚大な人的、物的被害をもたらした。大分県の発表によると、家屋等4棟が被災し、6人の尊い命が奪われた。亡くなられた方への深い哀悼の意を表しますとともに、被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

災害を引き起こす外力の明確な変動のない中で発生した斜面崩壊、それに伴った土砂災害の学術的、社会的重要性を鑑み、(公社)地盤工学会では、昨年度結成された「平成29年7月九州北部豪雨地盤災害調査団(団長：安福規之 九州大学教授)」から先遣調査隊のメンバーを編成し、事後の災害対策に資する現象の解明および関係機関に対する学術的助言等を行うために、被災地域での現地調査、分析、資料の収集等の活動を行っている。

本特別セッションでは、これまでの調査・分析結果を報告し、現段階で得られている教訓や今後の地盤工学的な課題などについて、参加される皆様と広く意見交換を行ないます。



崩壊斜面の様子(平成30年4月30日撮影)

日時：2018年7月25日(水) 午前Ⅱ 10:50～12:20

場所：第1会場(サンポートホール高松 大ホール)

主催委員会：「平成29年7月九州北部豪雨地盤災害調査団」

プログラム(暫定版)：

特別セッション座長：村上 哲(福岡大学)

1. 斜面崩壊の概要 – 地形と地質 –
矢ヶ部 秀美(NPO 法人研究機構ジオセーフ)
2. 現地調査およびその分析結果
大嶺 聖(長崎大学)
3. 推定される崩壊の形態とメカニズム
三谷 泰浩(九州大学)
4. まとめ – 得られた教訓と今後の地盤工学的な課題 –
三谷 泰浩(九州大学) 他先遣隊メンバー
5. 質疑応答および意見交換
– 崩壊のメカニズムと事前防災 –